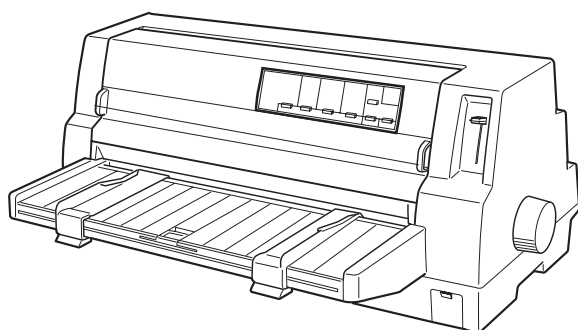
VP-4300
取扱説明書
セットアップと使い方の概要編

- プリンタを使用可能な状態にするための準備作業と基本操作を説明しています。
- 本書は製品の近くに置いてご活用ください。

2010 年 9 月発行
Printed in XXXXX

マークの意味

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

!注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

補足説明や参考情報を記載しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® Operating System Version 3.1 日本語版
Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 3.51 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 7 Operating System 日本語版

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 3.1、Windows 95, Windows 98、Windows Me、Windows NT3.51、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 2000/XP/Vista/7」のように Windows の表記を省略することがあります。

給紙方法の呼称

本書で説明する給紙方法と操作パネルおよびプリンタドライバ上の表記は以下のようになります。

給紙方法	操作パネルの表記	プリンタドライバの表記
単票紙を用紙ガイド / 給紙補助フィーダから手差し給紙する	単票紙 /CSF	手差し
単票紙をカットシートフィーダから給紙する	単票紙 /CSF	カットシートフィーダ
連続紙をプッシュトラクタから給紙する	連続紙	プッシュトラクタ

- 操作パネルの表記 “CSF” は、カットシートフィーダ（Cut Sheet Feeder）の略称です。
- プリンタドライバの表記 “カットシートフィーダ” は本製品に標準添付されているプリンタドライバ上の表記です。ほかのソフトウェアでは、類似の表記をしていることがあります。
  ＜例＞
  カットシートフィーダファーストビン、カットシートフィーダ / ビン #1

商標

- EPSON ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- PC-9800 シリーズ、PC-9821 シリーズ、PC-98 NX シリーズ、PC-H98 は日本電気株式会社の商標です。
- IBM PC、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Apple の名称、Macintosh、Power Macintosh、iMac、PowerBook、AppleTalk、LocalTalk、EtherTalk、漢字Talk、TrueType、ColorSync は Apple Inc. の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、WindowsNT、Windows Vista は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

もくじ

ご使用の前に

本製品を安全にお使いいただくための情報と、本製品の部品名称一覧を記載しています。

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品の取扱説明書をお読みください。
本製品の取扱説明書の内容に反した取り扱いは、故障や事故の原因になります。本製品の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

本製品の取扱説明書では、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

してはいけない行為（禁止行為）を示しています。	電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
分解禁止を示しています。	濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
製品が水に濡れることの禁止を示しています。	必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
アース接続して使用することを示しています。	特定の場所に触れることの禁止を示しています。

設置に関するご注意

⚠警告

本製品の通風口をふさがないでください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。
布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。

⚠注意

油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。
感電・火災のおそれがあります。

不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。
落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。

本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。
転倒などによる事故のおそれがあります。

本製品は重いので、1 人で運ばないでください。
開梱や移動の際は２人以上で運んでください。

本製品の組み立て作業（開梱、付属品の取り付けなど）は、梱包箱、梱包材、同梱品を作業場所の外に片付けてから行ってください。
滑ったり、つまずいたりして、けがをするおそれがあります。

本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。
作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。

本製品は次のような場所に設置してください。

- 水平で安定した場所
- 風通しの良い場所
- 気温（5 ～ 35 ℃）と湿度（10 ～ 80%）の場所

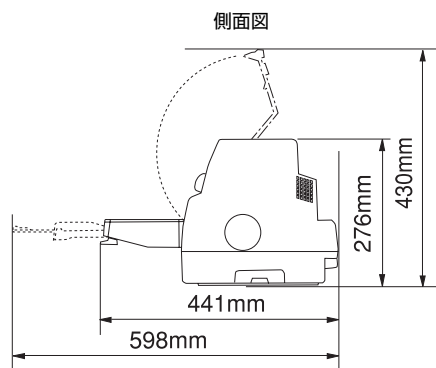
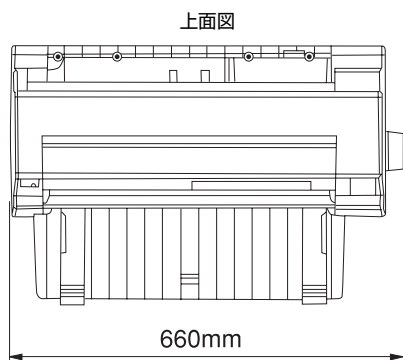
本製品は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

- 直射日光の当たる場所
- ホコリや塵の多い場所
- 温度変化や湿度変化の激しい場所
- 火気のある場所
- 水に濡れやすい場所
- 揮発性物質のある場所
- 冷暖房機具に近い場所
- 震動のある場所
- 加湿器に近い場所
- テレビ・ラジオに近い場所

!注意	静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

- 本製品を「プリンタ底面より小さい台」の上に設置しないでください。プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。必ずプリンタ本体より広く平らな面の上にプリンタを設置してください。
- 本製品をプリンタ台に設定する場合は、本体重量（約 18.1kg）に耐えられるプリンタ台に設定してください。
- 用紙やリボンカートリッジの交換などが簡単にできるようにスペースを確保してください。
- 本製品の外形寸法は次の通りです（小数点以下四捨五入）。

上面図

側面図

カットシートフィーダ（オプション）装着時

上面図

側面図

給紙補助フィーダ（オプション）装着時

電源に関するご注意

⚠警告

AC100V 以外の電源は使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電のおそれがあります。

破損した電源コードを使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。

電源コードが破損したときは、エプソンサービスコールセンターへご相談ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先は本書裏表紙をご覧ください。

また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードの上に重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

電源コードのたこ足配線はしないでください。

発熱して火災になるおそれがあります。

家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。

電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。

コードの損傷やプラグの変形による感電･火災のおそれがあります。

電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。

感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。

電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。

付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。

漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。

アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。

電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 65cm 以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D 種）を行っている接地端子

アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店へご相談ください。

次のような場所にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります）
- 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）

本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。

感電・火災のおそれがあります。

⚠注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

取り扱い上のご注意

⚠警告

煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。

異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンサービスコールセンターへご相談ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先は本書裏表紙をご覧ください。

取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。

開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。

感電・火災のおそれがあります。

異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。

すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンサービスコールセンターへご相談ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先は本書裏表紙をご覧ください。

本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。

引火による火災のおそれがあります。

アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。

お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。

発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。

製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。

感電や火傷のおそれがあります。

⚠注意

本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。

特に、子供のいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。

印刷用紙の端を手でこすらないでください。

用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

⚠注意	
各種ケーブルやオプション（操作手順中では適宜変更）を取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。 火災やけがのおそれがあります。 取扱説明書の指示に従って、正しく取り付けてください。	**使用中または使用直後に、プリンタカバーを開けたときはプリントヘッド部分に触れないでください。** 高温になっているため、火傷のおそれがあります。
本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。 コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。	**電源投入時および印刷中は、排紙ローラー部に指を近付けないでください。** 指が排紙ローラーに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。
インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。 • 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。 • 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師にご相談ください。 • 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。	**インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。**

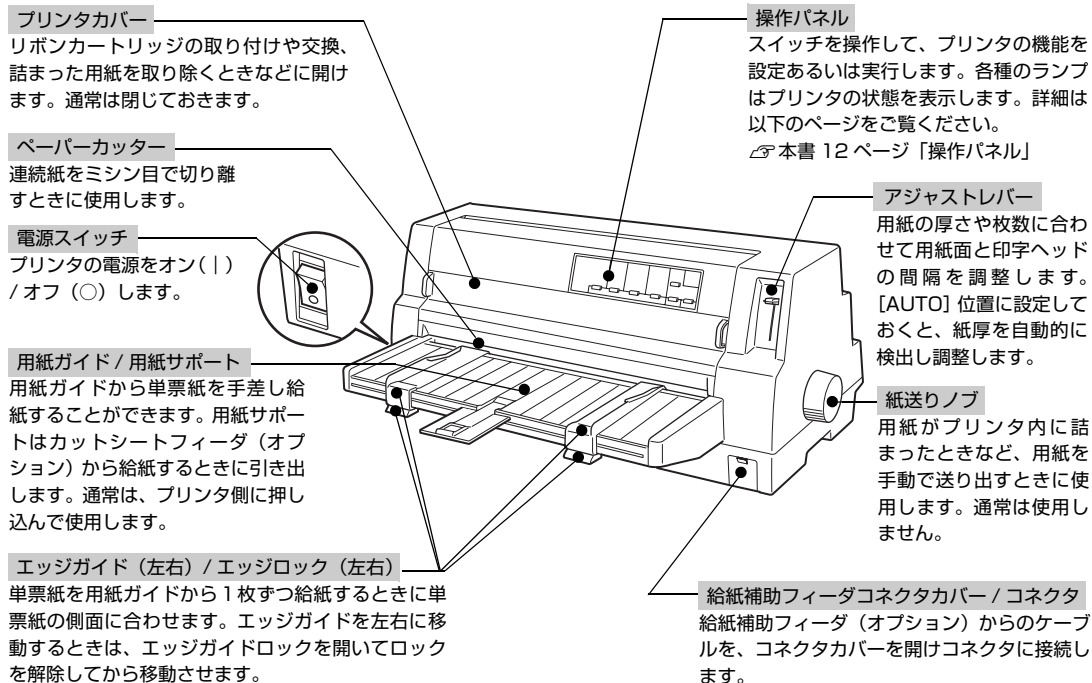
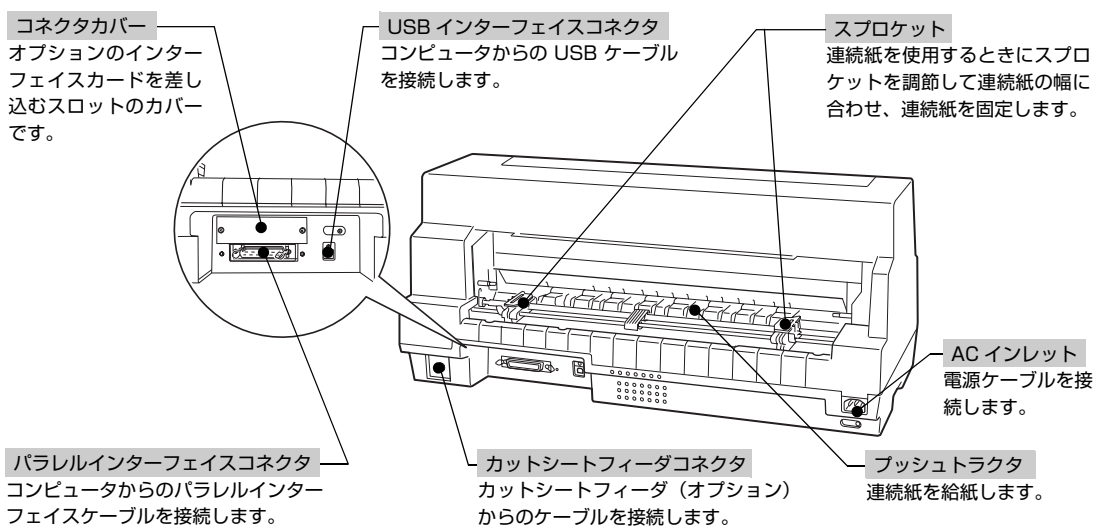
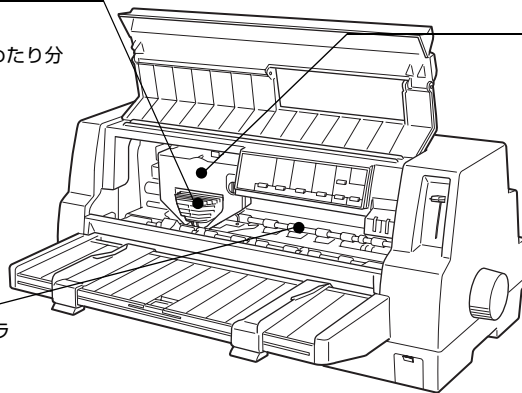
さらに以下の点も注意してください。

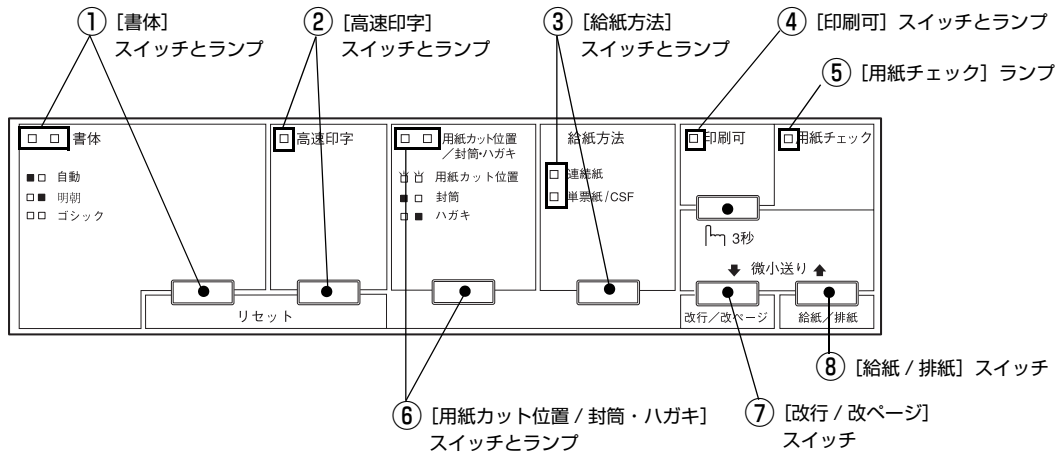
- 用紙やリボンカートリッジが取り付けられていない状態で印刷しないでください。
- 印刷中にプリンタカバーを開けないでください。
- 印刷中に電源を切らないでください。
- リボンがたるんだ状態で印刷しないでください。

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェアなども含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失など）は、補償いたしかねます。

各部の名称と役割

正面

背面

内部

操作パネル

操作パネル上のランプでプリンタの状態がわかります。スイッチ操作で各種機能の設定や実行ができます。

ランプの表記　□：点灯　■：消灯　:点滅

①[書体]スイッチとランプ

印刷するプリンタ内蔵書体を選択します。

■	□	自動	ソフトウェアの書体設定に従って印刷します。ソフトウェアで書体の設定がされていないときは、漢字は明朝体、英数文字はエプソンローマンで印刷します。
□	■	明朝	漢字は明朝体、英数文字はエプソンローマンで印刷します。ただし、ソフトウェアで TrueType フォントなどの設定がされているときは、ソフトウェア上で設定した書体で印刷されることがあります。
□	□	ゴシック	漢字はゴシック体、英数文字はエプソンサンセリフで印刷します。ただし、ソフトウェアで TrueType フォントなどの設定がされているときは、ソフトウェア上で設定した書体で印刷されることがあります。

プリンタ内蔵書体の印字例

・明朝体

東西南北春夏秋冬
セイコーエプソン
あいうえお

・エプソンローマン

0123456789
ABCDEFGHIJKLMN
abcdefghijklmn

・ゴシック体

東西南北春夏秋冬
セイコーエプソン
あいうえお

・エプソンサンセリフ

0123456789
ABCDEFGHIJKLMN
abcdefghijklmn

②[高速印字]スイッチとランプ

文字パターンのドットを間引きして、通常より高速に印字します（DOS 環境下で有効）。
高速印字モードのときランプが点灯します。
試し印刷やリボンカートリッジの消耗を抑えたいときに設定してください。ただし、印字品質は低下します。

Windows 環境下で高速印字をするには、さらにプリンタドライバの［印刷品質］を［ドラフト］に設定する必要があります。
☞『取扱説明書　詳細編』(PDF マニュアル) –「Windows からの印刷」–「プリンタドライバの設定」–「設定項目」

③[給紙方法]スイッチとランプ

スイッチを押して、給紙方法を切り替えます。

連続紙	プッシュトラクタにセットされている連続紙に印刷します。
単票紙 /CSF	用紙ガイド / 給紙補助フィーダまたはカットシートフィーダにセットされている単票紙に印刷します。

④[印刷可]スイッチとランプ

短く押す （3 秒未満）	印刷可状態と印刷不可状態を切り替えます。
長く押す （3 秒以上）	用紙の位置を微調整する［微小送りモード］になります。「ピッ」というブザーが鳴ったら指を離してください。ランプが点滅し、微小送りができます。 • 用紙を用紙ガイド側へ移動させるには⬇スイッチ（［改行 / 改ページ］スイッチ）を押します。 • 用紙をプッシュトラクタ側へ移動させるには⬆スイッチ（［給紙 / 排紙］スイッチ）を押します。 微小送りモードを終了させるには、［印刷可］スイッチを短く押します。 ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）–「印刷できる用紙」–「ティアオフと微小送り」

⑤[用紙チェック]ランプ

□	用紙がない状態。
	用紙が詰まった、または正常に排紙されなかった。

⑥[用紙カット位置 / 封筒･ハガキ]スイッチとランプ

用紙の種類と状態によって、動作が異なります。

☼	☼	用紙カット位置	連続紙に印刷する場合： ［用紙カット位置］スイッチとして機能します。印刷終了後、スイッチを押すと連続紙が用紙カット位置に紙送りされます。連続紙が用紙カット位置にあるときにランプが点滅します。用紙カット位置以外の位置にあるときは消灯します。 ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」
■	□	封筒	単票紙に印刷する場合： 封筒・ハガキに印刷する場合に給紙方法を単票紙に設定してから、スイッチを押します。封筒またはハガキ以外の用紙に印刷するときは、スイッチを押して両方のランプを消灯させます。
□	■	ハガキ	

⑦[改行 / 改ページ]スイッチ

連続紙のとき	スイッチを短く押すと改行します。 スイッチを押し続けると改ページします。
単票紙のとき	スイッチを短く押すと改行します。 スイッチを押し続けると排紙します。

⑧[給紙 / 排紙]スイッチ

連続紙のとき	プッシュトラクタに連続紙をセットした状態でスイッチを押すと給紙します。印刷位置に給紙されている状態でスイッチを押すと、トラクタ位置へ排紙します。
単票紙のとき	印刷位置に用紙がない状態でスイッチを押すと、カットシートフィーダ（オプション）にセットされた用紙を給紙します。 印刷位置に用紙がある状態でスイッチを押すと、排紙します。

用紙ガイドから給紙する場合は［給紙 / 排紙］スイッチを押す必要はありません。用紙をセットして用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込むと用紙は自動給紙されます。

ランプ表示によるプリンタ状態

パネルランプの状態	ブザー鳴動パターン	問題
		対処方法
■［印刷可］ランプ □［用紙チェック］ランプ	•••	用紙がセットされていないか、斜めにセットされています。
		用紙を正しくセットします。
■［印刷可］ランプ ［用紙チェック］ランプ	•••	完全に排紙されていません。
		［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。
■［印刷可］ランプ ［用紙チェック］ランプ	•••	用紙が詰まっています。
		本書 42 ページ「用紙が詰まったときは」を参照して、詰まった用紙を取り除きます。
■［印刷可］ランプ ■［用紙チェック］ランプ	•••	連続紙と単票紙の切り替えが正しくできていません。
		［給紙方法］スイッチを押して給紙方法を切り替え、用紙を正しくセットし直します。本書 31 ページ「給紙と排紙」を参照してください。
■［印刷可］ランプ ■［用紙チェック］ランプ	•••	プリンタカバーが開いています。
		操作を中止してプリンタカバーを閉じます。
［印刷可］ランプ ■［用紙チェック］ランプ	—	プリントヘッドが許容範囲を超えた高温になっています。
		ヘッドの温度が下がると自動的に印刷を再開します。しばらくそのままでお待ちください。
［印刷可］ランプ ［用紙チェック］ランプ ［給紙方法］ランプ ［用紙カット位置 / 封筒・ハガキ］ランプ ［高速印字］ランプ ［書体］ランプ	•••••	不明なプリンタエラーが発生しました。
		プリンタの電源を切って数分放置後、再度プリンタの電源を入れてください。それでもエラーが発生するときは、お買い求めいただいた販売店またはエプソンサービスコールセンターへご相談ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先は本書裏表紙をご覧ください。

□：点灯　■：消灯　：点滅

•••= 短い断続音（ピッピッピッ）、•••••= 長い断続音（ピーピーピーピーピー）

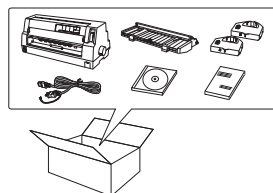
プリンタのセットアップ

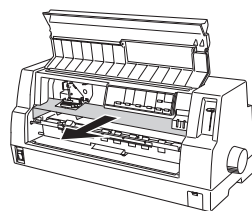
プリンタを箱から取り出し、プリンタが使用できるようにセットアップします。

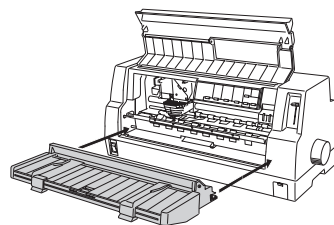
セットアップの流れ

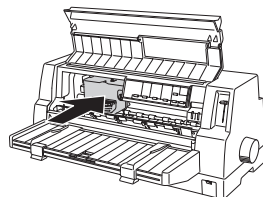
セットアップは以下の手順で行います。

1 同梱物の確認

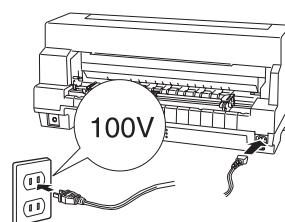
☞18ページ

2 保護材の取り外し

☞18ページ

3 用紙ガイドの取り付け

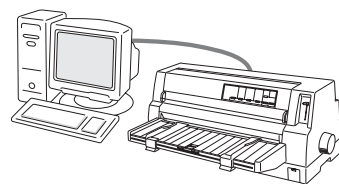
☞19ページ

4 リボンカートリッジの取り付け

☞19ページ

5 電源接続と動作の確認

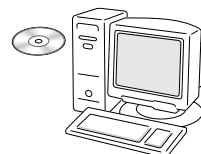
☞21ページ

電源に接続し、プリンタが問題なく使用できるかどうかを確認します。動作確認はコンピュータと接続していない状態で行います。

6 コンピュータとの接続

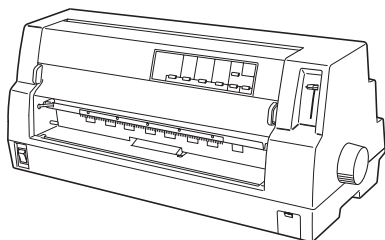
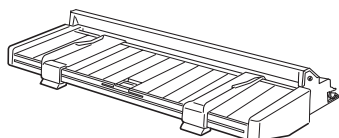
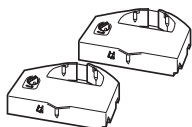
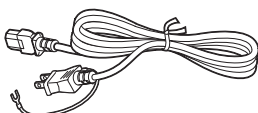
☞23ページ

お手持ちのケーブルでプリンタとコンピュータを接続します。

7 プリンタドライバと監視ユーティリティのインストール

☞26ページ

Windows で使用するには、同梱の EPSON プリンタソフトウェアCD-ROMに収録されているプリンタドライバやユーティリティソフトなどをコンピュータにインストールする必要があります。

1. 同梱物の確認

次のものが揃っていること、それぞれに損傷のないことを確認してください。
不足品や損傷しているものがございましたら、お買い求めいただいた販売店へご連絡ください。

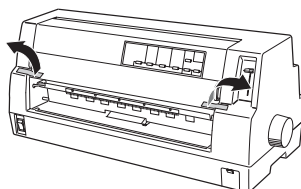
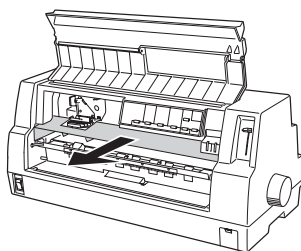
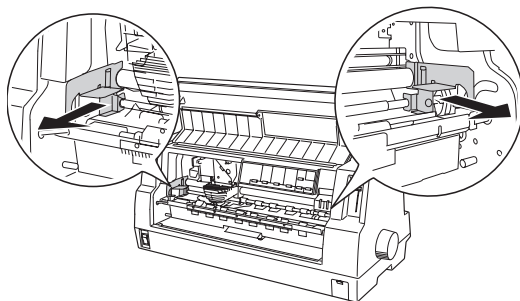
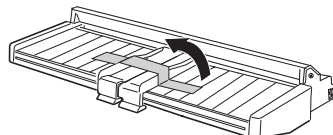
❏ プリンタ本体

❏ 用紙ガイド

❏ リボンカートリッジ（黒 / カラー各 1 個）

❏ 電源ケーブル

❏ VP-4300 取扱説明書
　セットアップと使い方の概要編（本書）
❏ EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM

- プリンタドライバ
- EPSON プリンタウィンドウ !3
- EPSON ステータスモニタ
- VP-4300 取扱説明書　詳細編（PDF マニュアル）

上記同梱品のほかに、各種ご案内が同梱されている場合がありますので、ご了承ください。

2. 保護材の取り外し

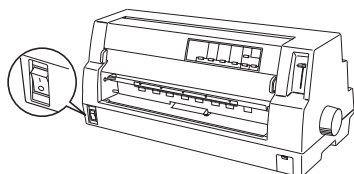
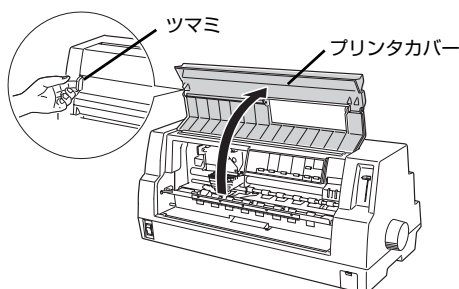
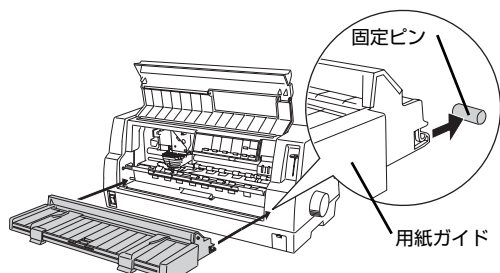
プリンタ輸送時の衝撃から守るために、保護材がプリンタに取り付けられています。
以下の保護材を取り外してください。

1 **プリンタカバー両端のテープをはがします。**

2 **プリンタカバーを開けて、保護材を手前に引いて取り外します。**

3 **プリンタ内部の左右にある保護材を手前に引いて取り外します。**

4 **用紙ガイドのテープをはがします。**

! 注意

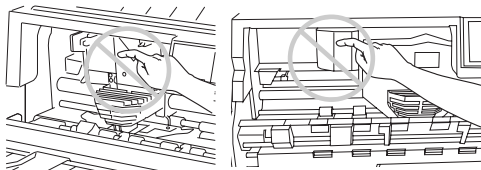
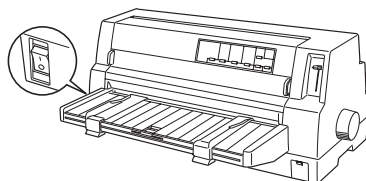
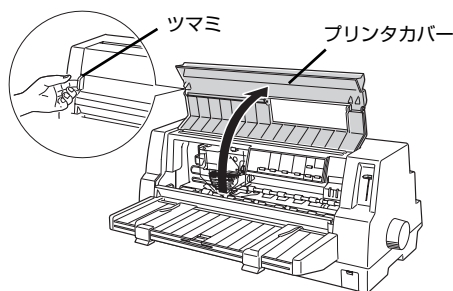
- 梱包箱、梱包材、保護材などは、プリンタの再輸送時に必要です。大切に保管してください。
- 上記以外にも、保護材があった場合は、取り外してください。

3. 用紙ガイドの取り付け

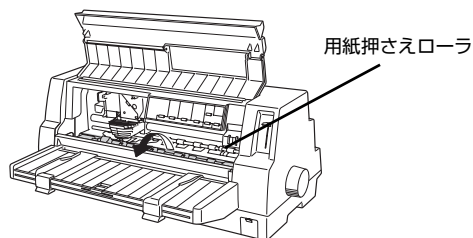
同梱されている用紙ガイドをプリンタに取り付けます。

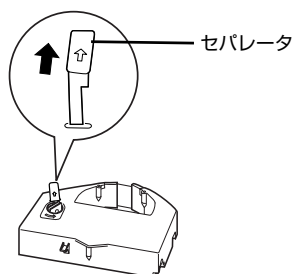
1 **プリンタの電源が切れていることを確認します。**

2 **プリンタカバーを開けます。**
プリンタカバー左右のツマミに指をそえてカバーを開けてください。

3 **用紙ガイドを取り付けます。**
用紙ガイドを両手で持ち、少し傾けた状態でフック部分をプリンタの左右の固定ピンに合わせ、ゆっくり用紙ガイドを下ろします。

4. リボンカートリッジの取り付け

同梱されているリボンカートリッジをプリンタに取り付けます。リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因となりますので、ていねいに扱ってください。

!注意
リボンカートリッジ取り付け時は、プリンタ内部の白いケーブルに触れないでください。

1 **プリンタの電源が切れていることを確認します。**

2 **プリンタカバーを開けます。**
プリンタカバー左右のツマミに指をそえてカバーを開けてください。

参考
リボンカートリッジの取り付けやすい位置にプリントヘッドがない場合は、プリンタカバーを閉じてから電源を入れてください。プリントヘッドが自動的にリボンカートリッジ交換の位置に移動します。再度電源を切ってから以下の操作を続けてください。

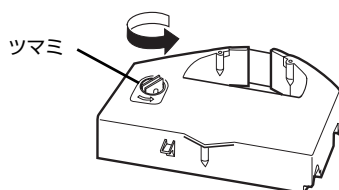
!注意
電源の切/入は、5秒程度待ってから行ってください。切 / 入の間隔が短かすぎるとプリンタの電源部が故障するおそれがあります。

3 用紙押さえローラを手前に倒します。

4 黒のリボンカートリッジを取り付ける場合は、セパレータを引き抜きます。

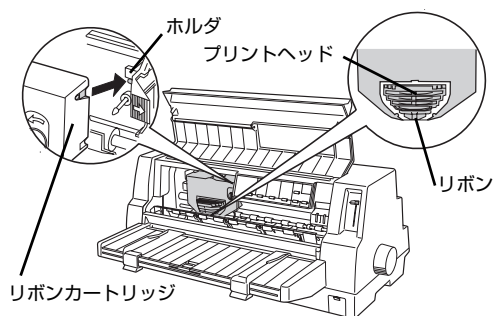
カラーのリボンカートリッジにはセパレータがありませんので、5 へ進んでください。

!注意

セパレータにはインクが付着しています。皮膚や衣服を汚すおそれがありますので注意してください。インクが皮膚に付着した場合は、すぐに水や石けんで洗い流してください。

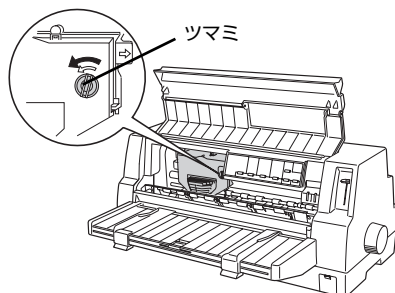
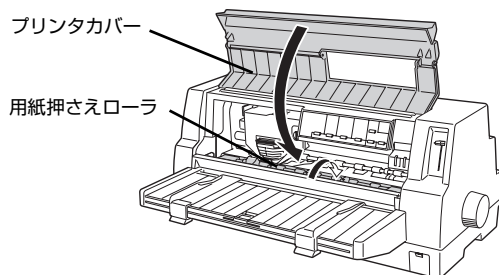
5 リボンのたるみを取ります。

ツマミを矢印の方向に回してリボンのたるみを取ってください。

6 リボンカートリッジを取り付けます。

リボンカートリッジを両手で持ち、プリントヘッドの下にリボンを通します。

リボンカートリッジ両端の穴を、ホルダ左右の突起に合わせてゆっくり押し込みます。

カートリッジの両端を軽く押して、傾き、がたつきのないことを確認してください。

7 リボンのたるみを取ります。

再びリボンカートリッジのツマミを矢印の方向に回してリボンのたるみを取ります。リボンが自由に動くのを確認してください。

8 用紙押さえローラを元に戻してから、プリンタカバーを閉じます。

以上でリボンカートリッジの取り付けは終了です。

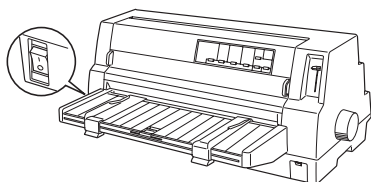
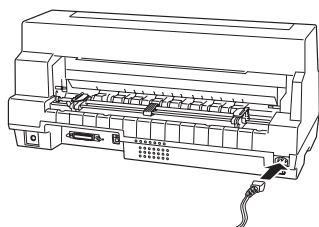
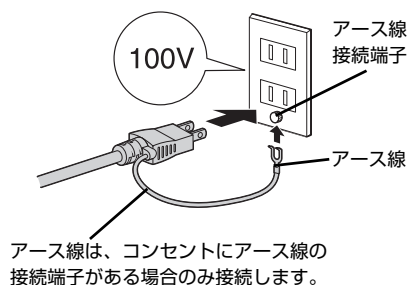
続いて電源と接続してプリンタの動作確認を行います。

5. 電源接続と動作確認

電源コードを電源コンセントに接続して、プリンタ単体での動作確認を行います。

電源との接続

> ⚠注意
>
> 「ご使用の前に」をお読みいただき、正しく取り扱ってください。
>
> ☞本書 4 ページ「ご使用の前に」

1 プリンタカバーを閉じてから、電源が切れていることを確認します。

2 プリンタ背面の AC インレットに電源ケーブルを差し込みます。

3 AC100V のコンセントに電源コードのプラグを正しく差し込みます。

漏電による事故防止について

本製品の電源コードには、アース線（接地線）が付いています。アース線を接地すると、万が一製品が漏電したときに、電気を逃がし感電事故を防止できます。コンセントにアースの接地端子がない場合は、アース線端子付きのコンセントに変更していただくことをお勧めします。コンセントの変更については、お近くの電気工事店へご相談ください。アース線が接地できない場合でも、通常は感電の危険はありません。

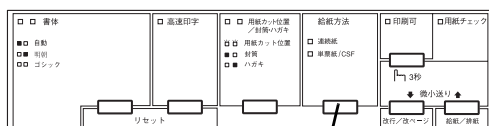
！注 意

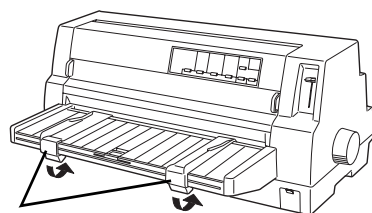
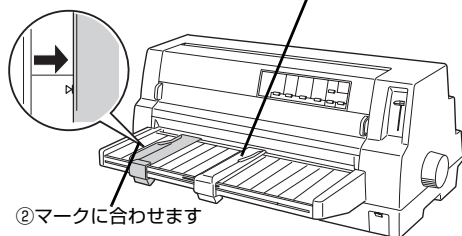
- 電源の切 / 入は、5 秒程度待ってから行ってください。切 / 入の間隔が短かすぎるとプリンタの電源部が故障するおそれがあります。
- 印刷の途中で電源を切らないでください。

動作の確認

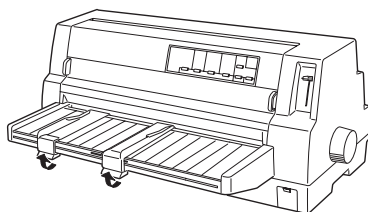
プリンタが正常に動作するかどうかをプリンタ内蔵の印字パターンを印刷して確認します。動作確認はコンピュータと接続していない状態で行います。A4 サイズの単票紙を用意してください。

1 プリンタの電源を入れます。

2 ［給紙方法］スイッチを押して［単票紙 / CSF］を選択した後、電源を切ります。

3 エッジガイドのロックを外してから、エッジガイド位置を調整します。

エッジガイド（左）を用紙ガイドのマーク（⊳）に合わせて、エッジガイド（右）を使用する用紙の幅に合わせます。ここでは、A4 サイズの単票紙を縦方向にセットします。

参考

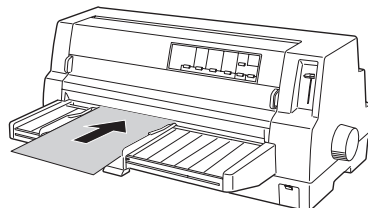
- 左右のエッジガイドの間で用紙がなめらかに動くようにエッジガイドの位置を合わせてください。
- 動作の確認は連続紙を使用することもできます。連続紙のセットの仕方については、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 34 ページ「連続紙の給紙と排紙」

4 エッジガイドをロックします。

5 ［改行 / 改ページ］または［給紙 / 排紙］どちらかのスイッチを押したまま電源を入れます。

- ［改行 / 改ページ］スイッチ：
  英数カナ文字モード印字をします
- ［給紙 / 排紙］スイッチ：
  漢字モード印字をします

［用紙チェック］ランプが点灯します。

6 単票紙を手差し給紙して、動作確認を実行します。

エッジガイドに沿って単票紙を差し込みます。
単票紙の先端が突き当たるまで差し込むと、自動的に給紙して動作確認を実行します。

＜印刷結果例（一部抜粋してあります）＞

・漢字モード

```
    、  。  ;  ・  ˙  :  ;
…  ‥  ‘  ;  “  ”  (  )
∞  ∴  ♂  ♀  °  ′  ″  ℃
↑  ↓  ＝  ∈  ∋  ⊆  ⊇  ⊂
♯  ♭  ♪  †  ‡  ¶  ◯  0
S  T  U  V  W  X  Y  Z
```

・英数カナ文字モード

```
 !"#$%&'()*+,-./0123456
!"#$%&'()*+,-./01234567
"#$%&'()*+,-./012345678
#$%&'()*+,-./0123456789
$%&'()*+,-./0123456789:
%&'()*+,-./0123456789:;
```

参考

印刷中に［印刷可］スイッチを押すと印刷は停止します。再度押すと印刷を再開します。用紙は手前に排紙されます。１枚目の印刷が終了し、続いて２枚目の用紙に印刷する場合は、次の用紙をセットすると自動的に印刷します。

7 ［印刷可］スイッチを押して印刷を終了させてから、プリンタの電源を切ります。

［印刷可］スイッチが押されるまで印刷は繰り返して行われます。プリンタに用紙が残っているときは、［給紙／排紙］スイッチを押して用紙を排紙してから電源を切ってください。

8 印刷結果を確認します。

6 の印刷結果のように印刷されていればプリンタは正常に動作しています。セットアップ終了後、印刷できないなどのトラブルが発生した場合は、インターフェイスケーブルやコンピュータの状態を確認してください。

参考

手順通りに実行しても印刷できない、プリンタが動作しないときは、お買い求めいただいた販売店またはエプソンサービスコールセンターへご相談ください。
エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。

続いてコンピュータに接続します。

6. コンピュータとの接続

本製品は、パラレルインターフェイスケーブルまたはUSBインターフェイスケーブルでコンピュータにローカル接続するか、オプションを使用して Ethernet ケーブルでネットワークに接続することができます。

お使いのコンピュータや接続環境によって使用するケーブルが異なるため、同梱されていません。別途ご用意ください。

ローカル接続

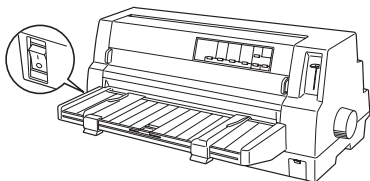
コンピュータをローカル接続する場合は、パラレルインターフェイスケーブルまたはUSBインターフェイスケーブルをご用意ください。

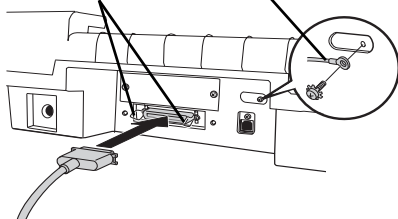
ケーブル	機種	型番
パラレル インターフェイス	DOS/V 仕様機	PRCB4N
USB インターフェイス	USB ケーブルが 接続できる機種 *	USBCB2

*： USB 接続するためには、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作が保証されている必要があります。

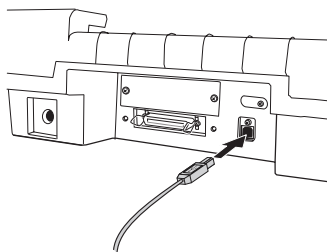
！注意

- 推奨ケーブル以外のケーブルを使用すると正常に印刷できない場合があります。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。

1 プリンタの電源が切れていることを確認します。

2 インターフェイスケーブルをプリンタに接続します。

パラレルケーブル :

パラレルケーブルをプリンタ側のパラレルインターフェイスコネクタにしっかり差し込み、左右のコネクタ固定金具を内側に倒して固定します。
ケーブルに FG 線（グランド線）* が付いているときは、コネクタの上にある FG 線取り付けネジで接続します。

*FG（グランド）線： プリンタとコンピュータとの間の電位差をなくし、動作を安定させるために接続する線のこと

USB ケーブル :

USB ケーブルは、コンピュータおよびプリンタの電源を入れた状態で抜き差しできますが、ソフトウェアのインストールを確実に行うために、ここでは電源を切って抜き差しします。

3 インターフェイスケーブルをコンピュータに接続します。

インターフェイスケーブルのもう一方のコネクタをコンピュータのコネクタに差し込みます。

以上でコンピュータとの接続は終了です。

USB ケーブルの場合は、以下の点をご確認ください。

- ケーブルのコネクタには、表裏があります。差し込み口の形状に合わせて差し込んでください
- USB ケーブルの差し込み口が複数ある場合は、どこに差し込んでも問題ありません
- USB ハブを使用する場合は、コンピュータに一番近い USB ハブへ接続してください

Windows 環境でお使いの場合は、続いてプリンタドライバなどをインストールします。本書 26 ページ「7. プリンタドライバと監視ユーティリティのインストール」へ進んでください。

ネットワーク接続

ネットワーク接続するには、オプションが必要です。インターフェイスカードの取り付けはPDFマニュアルの以下のページを参照して行ってください。

『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「インターフェイスカード」－「取り付け方」

型番	名称	解説
PRIFNW7	100BASE-TX/ 10BASE-T マルチプロトコル ネットワーク I/F カード	本製品を Ethernet でネットワーク環境に接続するためのインターフェイスカードです。 TCP/IP、NetBEUI、AppleTalk に対応しています。 接続には、Ethernet ツイストペアケーブル（カテゴリー5 以上）が別途必要です。 ネットワーク上の設定については、インターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。
PA-W11G2	802.11g 対応 無線プリント アダプタ	プリンタを無線 LAN 接続できるようにするアダプタです。 USB インターフェイスコネクタに接続して使用します。 ネットワーク上の設定については、PA-W11G2 の取扱説明書を参照してください。

参考

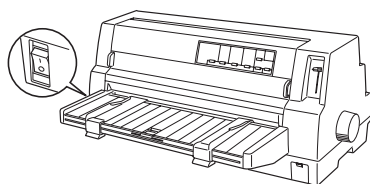
Windows の標準ネットワーク環境でプリンタを共有する場合は、本製品の標準インターフェイスをご利用いただけます。オプションは必要ありません。

プリンタ共有については、PDF マニュアルの以下のページを参照してください。

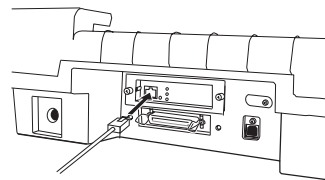
『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「Windows からの印刷」－「プリンタの共有」

！注意

- 本製品の電源を入れた状態で、ネットワークケーブルを抜き差ししないでください。
- ネットワークへは 10BASE-T/100BASE-TX どちらでも接続できますが、ネットワーク機能を最高のパフォーマンスに保つためには、100BASE-TX の最速ネットワークを、ネットワーク負荷の軽い環境で使用されることをお勧めします。
- 100BASE-TX 専用 HUB を使用する場合は、接続されるすべての機器が 100BASE-TX 対応であることを確認してください。
- ネットワークに有線で接続するときは HUB をお使いください。HUB を使わずにクロスケーブルで接続することはできません。
- 一部スイッチング HUB では正常に動作しないことがあります。その場合はスイッチング HUB と本製品の間に自動切り替えのない HUB を入れるなどの方法をお試しください。

1 プリンタの電源が切れていることを確認します。

2 オプションのインターフェイスカードを装着してから Ethernet ケーブルを接続します。

オプションのインターフェイスカードの装着方法は、PDF マニュアルの以下のページを参照してください。

『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「インターフェイスカード」－「取り付け方」

3 ケーブルのもう一方のコネクタを、HUB の空いているポートに差し込みます。

コンピュータへのケーブルの接続については、コンピュータの取扱説明書を参照してください。

以上でコンピュータとの接続は終了です。

インターフェイスカードの設定方法については、お使いのインターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。

7. プリンタドライバと監視ユーティリティのインストール

Windows プリンタドライバやプリンタ監視ユーティリティ（EPSON プリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ）などをインストールします。

！注 意

Macintosh、Windows 3.1/95/98/Me/NT3.51/NT4.0 をお使いの場合は、『補足説明書　セットアップと印刷方法』を参照してください。
『補足説明書　セットアップと印刷方法』はエプソンのホームページからダウンロードしてください。
【サービス名】ダウンロードサービス
【アドレス】　http://www.epson.jp/

Windows 7 の場合

参考

- EPSONステータスモニタは、プリンタの状態を監視してエラーメッセージなどを画面に表示するユーティリティです。
  EPSON ステータスモニタで監視できるプリンタの接続形態は以下です。
  - パラレル接続または USB 接続でのローカルプリンタ
  - Windows 共有プリンタ
  - TCP/IP 接続プリンタ
  （オプションの PRIFNW7、PA-W11G2 を使用）
  双方向通信をサポートしていないコンピュータでは使用できません。
- OS に標準添付されているプリンタドライバをインストールしてから、本製品同梱の CD-ROM に収録されている EPSON ステータスモニタをインストールしてください。
- Windows　プリンタドライバを使用しない特殊なアプリケーションソフトをお使いの場合に、プリンタドライバや EPSON ステータスモニタをインストールすると正常に印刷されなくなることがあります。このような環境ではプリンタドライバや EPSON ステータスモニタをインストールしないようにしてください。

プリンタドライバのインストール

OS に標準添付されているプリンタドライバをインストールします。

1. **コンピュータとプリンタの電源を切り、パラレルインターフェイスケーブルまたは USB インターフェイスケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。**
2. **プリンタの電源を入れます。**
3. **コンピュータの電源を入れ、Windows 7 を起動します。**
4. **プリンタが検出され、自動的にプリンタドライバがインストールされます。**

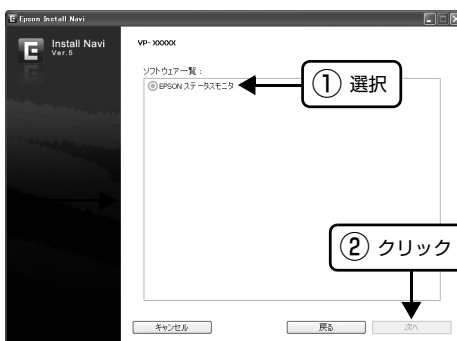
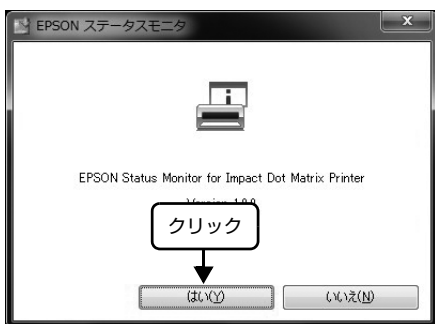
以上でプリンタドライバのインストールは終了です。
続いて、本製品同梱の CD-ROM に収録されている EPSON ステータスモニタをインストールします。

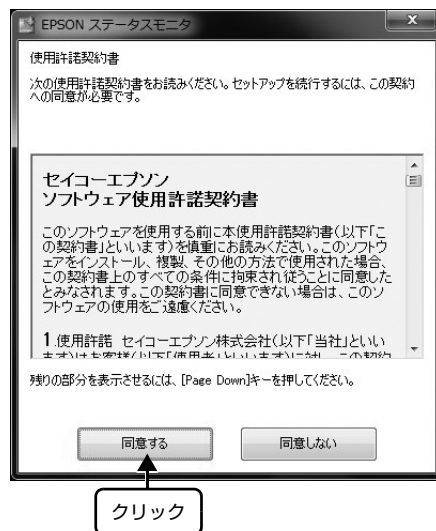
EPSON ステータスモニタのインストール

1. **Windows を起動します。**
   管理者権限のあるユーザー（Administrator）でログインしてください。
2. **EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットします。**

3 ［ソフトウェア一覧］をクリックします。

上記の画面が表示されないときは、[マイコンピュータ] - [CD-ROM] - [Epsetup.exe] をダブルクリックしてください。

4 ［EPSON ステータスモニタ］を選択して、［次へ］をクリックします。

5 ［はい］をクリックします。

6 以下の画面が表示されたら、内容を確認して［同意する］をクリックします。

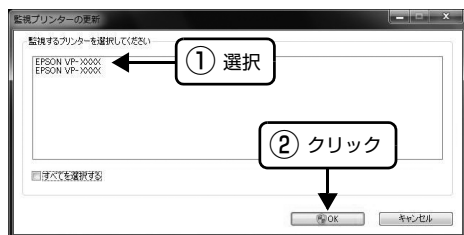
ソフトウェアのインストールが始まります。
［同意しない］をクリックした場合は、［OK］をクリックしてインストールを終了させます。

7 しばらくすると、以下の画面が表示されます。［監視プリンタの更新］をクリックします。

EPSON ステータスモニタで監視するプリンタに本製品を追加します。

監視プリンタの更新をせずにプリンタのセットアップを終了させ、後で設定することもできます。その場合は、［OK］または［キャンセル］をクリックしてセットアップを終了させます。

設定方法は以下を参照してください。

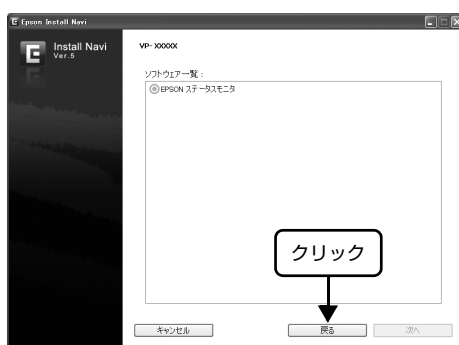
☞『取扱説明書　詳細編』（PDF　マニュアル）－「Windows からの印刷」－「プリンタの監視（EPSON ステータスモニタ）」－「監視プリンタの更新」

8 本製品を選択し、[OK] をクリックします。

参考

ここでほかのプリンタを追加したり削除することもできます。
監視するプリンタを選択して [OK] をクリックします。また、[すべてを選択する] にチェックを付けると、表示されているすべてのプリンタを選択できます。監視させたくないプリンタは、選択を解除して [OK] をクリックします。

9 [OK] をクリックします。

10 [OK] をクリックします。

11 [戻る] をクリックします。

12 [終了] をクリックします。

ご利用の環境によって表示される画面が異なります。再起動を促すメッセージが表示されたら、Windows を再起動してください。

以上で終了です。

Windows 2000/XP/Vista の場合

参考

- EPSONプリンタウィンドウ!3は、プリンタの状態を監視して、エラーメッセージなどを画面に表示するユーティリティです。本製品同梱の CD-ROM に収録されているプリンタドライバをインストール後、続けてインストールすることができます。
  EPSON プリンタウィンドウ!3で監視できるプリンタの接続形態は以下です。
  - パラレル接続または USB 接続でのローカルプリンタ
  - Windows 共有プリンタ
  - TCP/IP 接続プリンタ
    （オプションの PRIFNW7、PA-W11G2 を使用）

  双方向通信をサポートしていないコンピュータでは使用できません。
- Windows プリンタドライバを使用しない特殊なアプリケーションソフトをお使いの場合に、プリンタドライバや EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールすると正常に印刷されなくなることがあります。このような環境ではプリンタドライバや EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしないようにしてください。

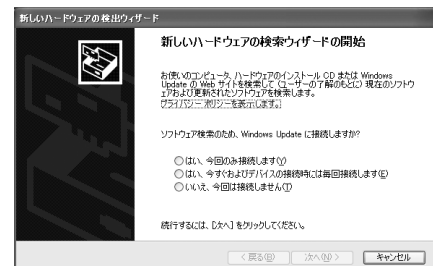
1 プリンタの電源を切ります。

指示があるまでプリンタの電源を入れないでください。

2 Windows を起動します。

管理者権限のあるユーザー（Administrator）でログインしてください。

参考

以下のような画面が表示されたときは［キャンセル］をクリックしてください。

3 本製品に同梱されている EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

4 ［簡単インストール］をクリックします。

上記の画面が表示されないときは、［マイコンピュータ］-［CD-ROM］-［Epsetup.exe］をダブルクリックしてください。

5 以下の画面が表示されたら、内容を確認して［同意する］を選択し、［次へ］をクリックします。

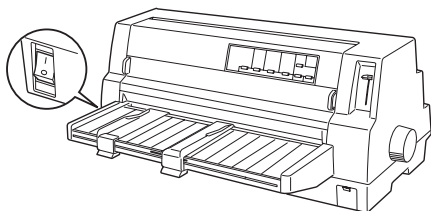
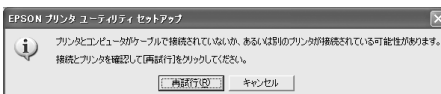
［同意しない］を選択した場合は、［キャンセル］をクリックしてインストールを終了させます。

6 インストールするソフトウェアを確認し、［インストール］をクリックします。

ソフトウェアのインストールが始まります。

7 しばらくすると、以下の画面が表示されます。プリンタの電源を入れてください。

プリンタの接続先を設定します。

参考

7 の画面表示後、約3分経過してもプリンタの接続が確認できない、あるいは印刷先のポートが認識できないと、以下のような画面が表示されます。

プリンタの電源が入っているか、推奨ケーブルが正しく接続されているかを確認して、［再試行］をクリックし、［手動設定］から接続しているポートを選択してください。

8 以下のような画面が表示されたら［終了］をクリックします。

9 ［終了］をクリックします。

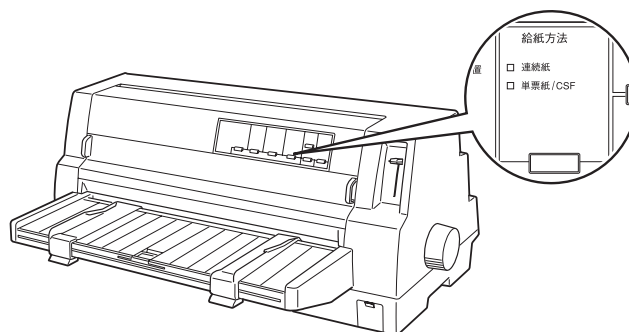
ご利用の環境によって表示される画面が異なります。再起動を促すメッセージが表示されたら、Windows を再起動してください。

以上で終了です。

給紙と排紙

本製品の給紙経路、使用できる用紙とセット方法などを説明します。

給紙経路と用紙

本製品には以下のような給紙経路があり、操作パネル上の［給紙方法］スイッチを押すことにより、使用する用紙種類に応じた設定に切り替えます。

用紙種類		給紙経路	［給紙方法］ランプ （□ : 点灯、■ : 消灯）	給紙方法
連続紙	• 上質紙、再生紙あるいは複写紙（ノンカーボン紙または裏カーボン紙） • 複写紙は最大 8 枚（オリジナル＋ 7 枚）まで可 • 連続ラベル紙の台紙への印刷は不可	排紙 給紙	□ 連続紙 ■ 単票紙 /CSF	プッシュトラクタから連続紙を給紙します。
単票紙 ハガキ 封筒	• 上質紙、再生紙、複写紙（ノンカーボン紙または裏カーボン紙）、ハガキ、封筒 • 複写紙は最大 8 枚（オリジナル＋ 7 枚）まで可 • 単票ラベル紙は使用不可 • 単票複写紙 / ハガキ / 封筒は、用紙ガイド、給紙補助フィーダまたはカットシートフィーダから給紙します	給紙 排紙	■ 連続紙 □ 単票紙 /CSF	用紙ガイド / 給紙補助フィーダ（オプション）から用紙を手差し給紙します。
		給紙 排紙	■ 連続紙 □ 単票紙 /CSF	カットシートフィーダ（オプション）から用紙を自動給紙します。

印刷できる用紙

本製品で印刷できる用紙は下表の通りです。用紙仕様の詳細や注意事項、使用できない用紙の情報は『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）に掲載されています。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」

• 連続紙（連続複写紙）

項目	一枚紙	複写紙	ラベル紙
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙、裏カーボン紙（オリジナル＋7 枚まで）	上質紙
用紙幅（台紙幅）	101.6 ～ 406.4mm（4 ～ 16 インチ）		
折り畳み長	101.6 ～ 558.8mm（4 ～ 22 インチ）		
用紙厚	0.065 ～ 0.19mm	0.12 ～ 0.62mm	0.16 ～ 0.19mm（台紙含む）
用紙連量	45 ～ 135kg（坪量 52 ～ 157g/m^2）	34 ～ 50kg（坪量 40 ～ 58g/m^2）（1 枚当たり）	－

※用紙連量は、四方判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

参考

プリンタドライバでの、連続紙の「用紙サイズ」の設定は以下を参考にしてください。

① 用紙の横のサイズと縦（ミシン目とミシン目の間）を計ります。

② プリンタドライバ上では、inch 単位でサイズが表示されるため、計ったサイズを inch 単位に置き換えます（1inch は、約 25.4mm です。ここでは、仮に横 8inch ×縦 4.67inch の用紙とします）。

③ プリンタドライバの［用紙サイズ］リストから、8 × 4.67inch に合うサイズとして、「15 × 4 2/3inch」を選択します。プリンタドライバ上では、4.67inch を 4 2/3inch と分数で表現しています。

• 単票紙（単票複写紙）

項目	給紙経路	一枚紙	複写紙 *2
品質		上質紙 *1、普通紙、PPC 用紙、再生紙	ノンカーボン紙、裏カーボン紙 *2
用紙幅	用紙ガイド	90 ～ 420mm（3.5 ～ 16.5 インチ）	
	給紙補助フィーダ	100 ～ 420mm（3.9 ～ 16.5 インチ）	
	カットシートフィーダ		
用紙長	用紙ガイド	• 1 枚紙および天のり綴じの場合 80 ～ 420mm（3.15 ～ 16.5 インチ） • 横のり綴じの場合 80 ～ 297mm（3.15 ～ 11.7 インチ）	
	給紙補助フィーダ		
	カットシートフィーダ	92 ～ 364mm（3.6 ～ 14.3 インチ）	
用紙厚	用紙ガイド	0.065 ～ 0.19mm	0.12 ～ 0.62mm
	給紙補助フィーダ		
	カットシートフィーダ	0.08 ～ 0.12mm	
用紙連量	用紙ガイド	45 ～ 135kg（坪量 52.3 ～ 157g/m^2）	34 ～ 50kg（坪量 40 ～ 58g/m^2）（1 枚当たり）
	給紙補助フィーダ		
	カットシートフィーダ	55 ～ 70kg（坪量 63.9 ～ 81.3g/m^2）	

*1：本書では、上質紙、普通紙、PPC 用紙を総称として、上質紙と表記します。
*2：カットシートフィーダから複写紙を給紙する場合は、ノンカーボン紙を使用し、裏カーボン紙は使用しないでください。
※ 給紙補助フィーダ、カットシートフィーダはオプションです。
※ 用紙連量は、四方判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

使用できる定形紙とセット方向は下表の通りです。

用紙サイズ	前から給紙（用紙ガイド/給紙補助フィーダ（オプション））		CSF（オプション）	
	一枚紙	複写紙	一枚紙	複写紙 *
A3 (297 × 420mm)	縦長、横長	縦長、横長	横長	横長
A4 (210 × 297mm)	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長
A5 (148 × 210mm)	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長
A6 (105 × 148mm)	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長
B4 (257 × 364mm)	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長
B5 (182 × 257mm)	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長

* ：カットシートフィーダ（オプション）では横のり複写紙は使用できません。

• ハガキ

項目	詳細	
品質	郵便ハガキ（通常ハガキ）	郵便往復ハガキ
用紙幅	100mm	148mm
用紙長	148mm	200mm
用紙厚	約 0.22mm	

ハガキのセット方向は下表の通りです。

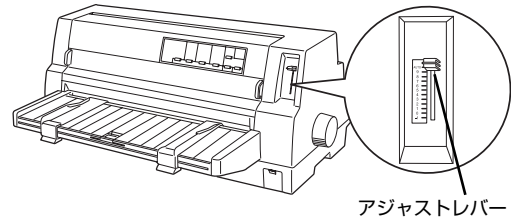
ハガキ種類	前から給紙	CSF（オプション）
通常ハガキ（100 × 148mm）	縦長、横長	縦長、横長
往復ハガキ（148 × 200mm）	縦長、横長	縦長、横長

• 封筒

項目	詳細
品質	クラフト紙、ケント紙
用紙厚（総厚）*	0.12 ～ 0.46mm

* ：ただし、印字推奨領域内における紙厚差は 0.25mm（0.01 インチ）以下とします。
『取扱説明書　詳細編』（PDF　マニュアル）－「印刷できる用紙」－「封筒」－「印字推奨領域と給紙方向」

アジャストレバーの設定

給紙する用紙の厚さに合わせてアジャストレバーを設定します。通常は、アジャストレバーを「AUTO」に設定して印刷します。「AUTO」に設定すると、自動的に用紙種類や枚数に合わせて紙厚を調整し、印刷します。

用紙の種類・枚数		アジャストレバーの設定値	
1 枚紙		-1 ～ 0	AUTO
複写紙	2 枚	0 ～ 1	
	3 枚	1 ～ 2	
	4 枚	2 ～ 4	
	5 枚	3 ～ 5	
	6 枚	4 ～ 6	
	7 枚	5 ～ 8	
	8 枚	6 ～ 9	
ラベル		2	
ハガキ		2	
封筒		2 ～ 6	

！注 意

- 厚紙や特殊紙に印刷する際は、印刷領域に注意してください。ソフトウェアで印刷領域を設定するときは、必ず印字推奨領域内で印刷するように設定してください。アジャストレバーの設定値が大きいときに印字推奨領域外で印刷すると、プリントヘッドを損傷するおそれがあります。
- ハガキを使用するときは、アジャストレバーを「AUTO」または「2」に設定してください。次に［用紙カット位置 / 封筒・ハガキ］スイッチを押してハガキモードを設定してから印刷してください。
- 用紙の厚さに対してアジャストレバーの設定値が大きすぎると、印刷がかすれたり、印刷抜けを起こす場合があります。逆に設定値が小さすぎると、リボンや用紙が傷んだり、用紙が汚れたり、用紙が正しく送られない場合があります。

参考

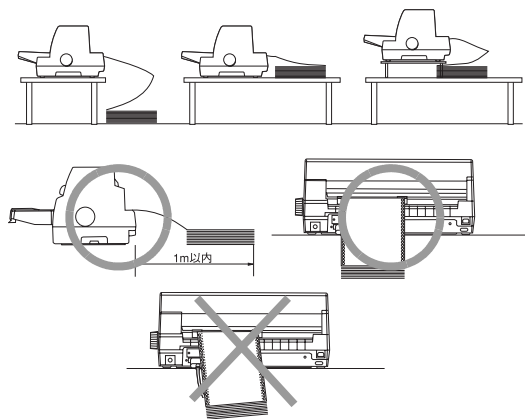
- 封筒は場所によって用紙厚が異なるため、アジャストレバーは「AUTO」に設定することをお勧めします。ただし、印字が薄い場合は 2 ～ 6 の範囲で設定値を小さく、印字汚れ（こすれ）がでるときは 2 ～ 6 の範囲で大きく設定して印刷してください。
- 複写紙は同じ複写枚数でも、種類によって用紙の厚さが異なるため、アジャストレバーを「AUTO」に設定することをお勧めします。ただし、印字が薄い場合は、使用される複写枚数のアジャストレバーの設定範囲内で設定値を小さく、印字汚れ（こすれ）が出る場合は、設定範囲内で設定値を大きくして印刷してください。

連続紙の給紙と排紙

！注 意

印刷開始位置がずれたりプリンタ内に用紙が詰まるなどの動作不良や、故障の原因となりますので、次の操作は絶対にしないでください。

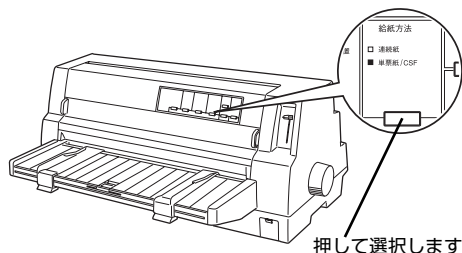
- プリンタの［電源］スイッチを入れたまま、紙送りノブを回す。
- プリンタの［電源］スイッチを入れたまま、連続紙がプリンタ内に給紙された状態で、トラクタから用紙を外して引き抜く。
- プリンタの［電源］スイッチを入れたまま、［給紙 / 排紙］スイッチを押し、用紙が完全に排紙されない状態で、用紙を引き抜く。
- プリンタの［電源］スイッチを切った状態で、紙送りノブを使用して用紙をプリンタ内部に送る。

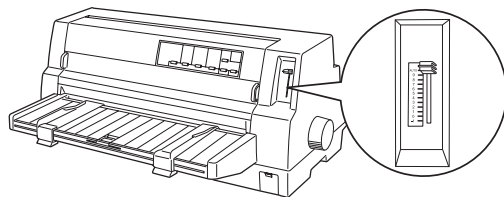
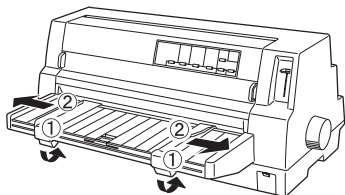
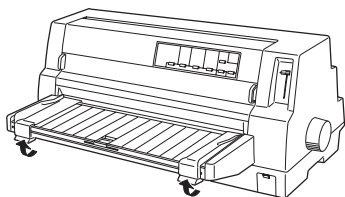
連続紙はプリンタ背面のプッシュトラクタから給紙します。
連続紙をスムーズに給紙するために、以下のような配置でプリンタをお使いください。

！注 意

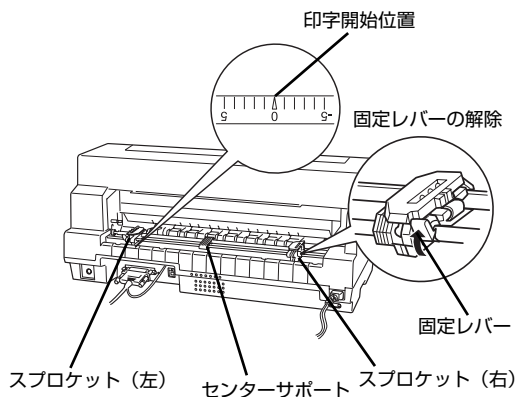
プリンタケーブルやプリンタ台の角、用紙の箱に連続紙が接触していると紙送りの負荷となり、印刷位置がずれる場合があります。スムーズに給紙できるように連続紙を配置してください。また、連続紙は必ず箱から取り出して置いてください。

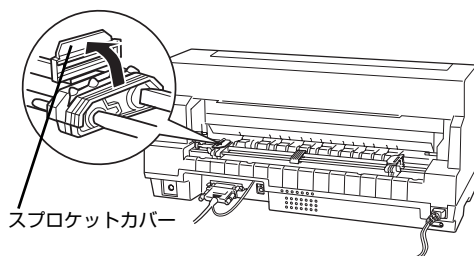
給紙

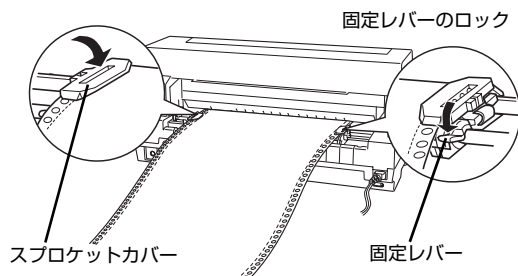
1 **プリンタの電源を入れます。**

2 **［給紙方法］スイッチを押して「連続紙」を選択します。**

3 **通常はアジャストレバーを「AUTO」に設定します。**

☞ 本書 33 ページ「アジャストレバーの設定」

4 **エッジガイドのロックを外してから、エッジガイドを左右いっぱいに広げます。**

5 **エッジガイドをロックします。**

6 **スプロケットの固定レバーのロックを解除し、連続紙のサイズに合わせて位置を調整します。**

スプロケット（左右）の固定レバーを上げてロックを解除します。スプロケット（左）は、△印（印字開始位置）を目安に位置を決め、固定レバーを下げてロックします。スプロケット（右）は連続紙のピン穴の幅に合わせます。センターサポートを左右のスプロケットの中央に移動させます。

> **参考**
>
> スプロケット（左）の手前側にある△印は、印字開始位置を示します。ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンとが異なっている場合は以下を確認してください。
>
> ① 用紙のセット位置を確認します。
> 1桁目の印字開始位置を△印に合わせてください。
>
> ② ソフトウェアのマージン（余白）設定を確認します。
>
> それでもマージンが異なる場合は、スプロケットの位置を再調整してください。

7 **スプロケットカバーを開けます。**

8 連続紙をセットし、スプロケットを固定します。

連続紙のはじめの 3 つの穴をピンにはめます。スプロケット（左）のカバーを閉じてから、スプロケット（右）を動かして用紙のたるみを取り除きます。固定レバーを下に倒してロックします。

9 ［印刷可］ランプが点灯していることを確認して、印刷を実行します。

印刷データを受信すると連続紙は自動給紙されて、印刷を開始します。

！注意

- プリンタの電源を入れたまま、紙送りノブを回して排紙したり、連続紙がプリンタ内に給紙された状態でトラクタから用紙を外して引き抜いたりしないでください。印刷開始位置がずれたり、プリンタ内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となります。
- 給紙されないときは、連続紙をセットし直してください。
- 給紙補助フィーダ（オプション）を装着時、連続紙のセット位置によっては、排紙する連続紙が給紙補助フィーダに当たり、紙詰まりするのを防ぐため、連続紙を給紙しない場合があります。そのような場合は、連続紙のセット位置を調整してください。
- 斜めに給紙されたときは、プリンタの電源を切ってから紙送りノブを回して用紙を取り除き、新しい連続紙をセットし直して給紙してください。
- 印刷中にプリンタカバーを開けないでください。プリンタカバーが開くと、安全のために印刷が中断します。印刷を再開するにはプリンタカバーを閉じ、プリンタの電源を切って、約 5 秒後にプリンタの電源を入れてください。

参考

- 印刷する前に以下を設定してください。
  - プリンタドライバ経由で印刷する場合は、連続紙の用紙サイズを設定してください。
    『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「Windows からの印刷」－「プリンタドライバの設定」
  - DOS 環境で印刷する場合は、連続紙のページ長とミシン目スキップを設定してください。
    『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」－「操作パネルからの設定」
- DOS 環境で印刷している場合は、給紙位置を「微小送り機能」で微調整できます。
  『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」
- ラベル紙のセット方法は、連続紙と同じです。

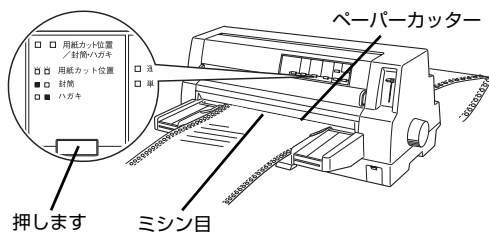
連続紙の排紙

連続紙はプリンタの前面から排紙されます。

ラベル紙を除く連続紙は以下の手順で排紙してください。

1 印刷が終了したら、[用紙カット位置 / 封筒・ハガキ] スイッチを押して連続紙をミシン目カット位置まで送り出します。

切断するミシン目が用紙ガイドのペーパーカッターとずれているときは、［微小送り ⬆］スイッチまたは［微小送り ⬇］スイッチを押してミシン目位置を調整してください。

『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」

参考

上記の手順は手動ティアオフ機能を使用した場合です。自動ティアオフ機能を使用すると、印刷終了後に連続紙が自動でカット位置まで紙送りされます。設定方法はPDFマニュアルの以下のページを参照してください。

『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「連続紙の切り離し（ティアオフ）」

2 印刷が終了したページをミシン目で切り離します。

次の印刷を行うと、連続紙が印刷開始位置まで自動的に戻って印刷が始まります。

参考

- [用紙カット位置 / 封筒･ハガキ]スイッチを押して連続紙を戻すこともできます。
- 電源を切るときは、[給紙 / 排紙]スイッチを押して連続紙をプッシュトラクタ位置まで戻してください。給紙した状態で電源を切ると、次の印刷時に印字開始位置がずれることがあります。

ラベル紙の排紙

印刷の終了したラベル紙を切り離すときは、必ず改ページをして、プリンタ前面から排紙してください。ティアオフ機能（[用紙カット位置 / 封筒・ハガキ］スイッチ、[給紙 / 排紙］スイッチ）は使用しないでください。

!注意

[用紙カット位置 / 封筒・ハガキ］スイッチ、[給紙 / 排紙］スイッチを使用するなどしてラベル紙をプリンタ後方より引き抜くとラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。ラベル紙はプリンタ前面から排紙してください。

印刷が終了したら、印刷に使用しないラベル紙を給紙口より手前で切り離し、[改行 / 改ページ］スイッチを押して排紙します。

単票紙の給紙と排紙

!注意

印刷開始位置がずれたりプリンタ内に用紙が詰まるなどの動作不良や、故障の原因となりますので、次の操作は絶対にしないでください。

- プリンタの電源を入れたまま、紙送りノブを回す。
- プリンタの電源を入れたまま、用紙を引き抜く。
- プリンタの電源を切った状態で、紙送りノブを使用して用紙をプリンタ内部に送る。

用紙の表面がなめらかで良質のものを使用してください。

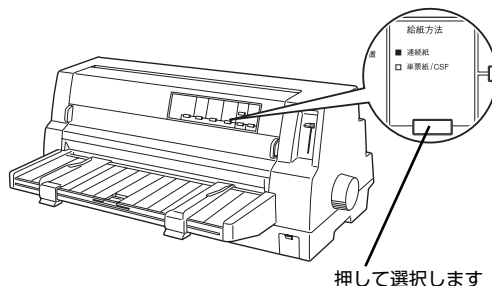
単票紙は、用紙ガイドまたは給紙補助フィーダ（オプション）からの手差し給紙（1 枚ずつ）と、カットシートフィーダ（オプション）からの連続給紙ができます。オプションの給紙補助フィーダとカットシートフィーダの取り付け、給紙方法は、PDF マニュアルの以下のページを参照してください。

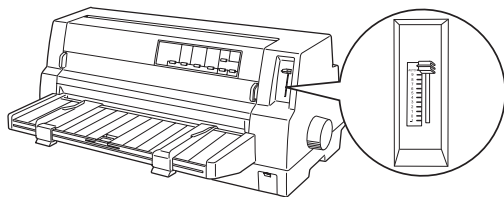
☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「給紙補助フィーダ」

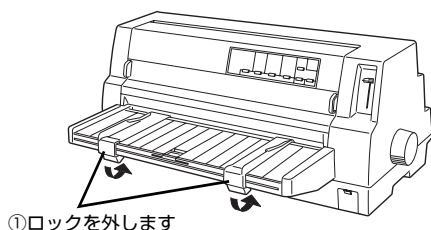
☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「カットシートフィーダ」

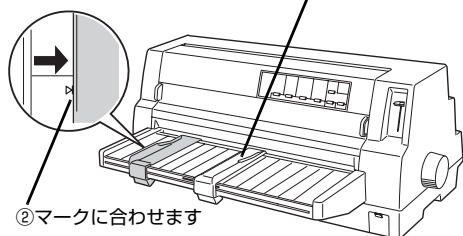
単票紙

1 プリンタの電源を入れます。

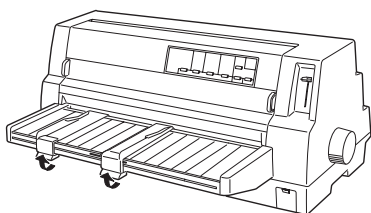
2 ［給紙方法］スイッチを押して「単票紙 / CSF」を選択します。

3 通常はアジャストレバーを「AUTO」に設定します。

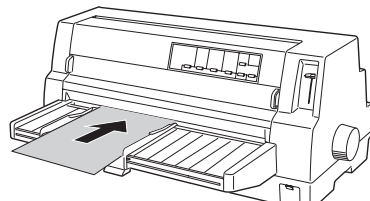
☞ 本書 33 ページ「アジャストレバーの設定」

4 エッジガイドのロックを外してから、エッジガイド位置を調整します。

エッジガイド（左）を用紙ガイドのマーク（ᐅ|）に合わせ、エッジガイド（右）を単票紙の幅に合わせます。

③用紙のサイズに合わせます

②マークに合わせます

参考

エッジガイド（左）の位置によって、印刷時の左マージンが決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンが異なっている場合は、エッジガイドの位置を調整してください。

5 エッジガイドをロックします。

6 単票紙を手差し給紙します。

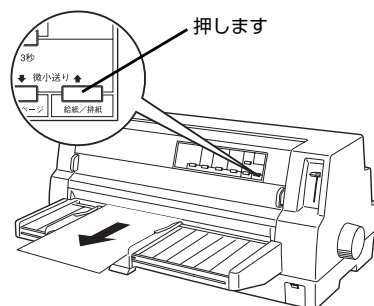
用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。用紙は自動的に給紙位置にセットされます。印刷データを受信すると印刷を開始します。

!注意

プリンタの電源が入っているときは、紙送りノブを回さないでください。

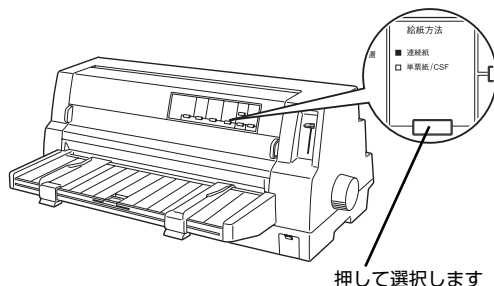
参考

- DOS 環境でご使用の場合、給紙位置は［微小送り］スイッチで微調整できます。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」
- プリンタドライバ経由で印刷している場合は、給紙位置の調整はできません。お使いのアプリケーション上で余白の設定を行ってください。

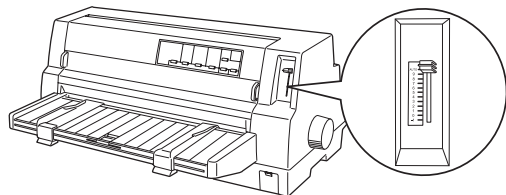
7 印刷が終了すると単票紙は自動的に排紙されます。

プリンタ内に用紙が残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

封筒､ハガキ

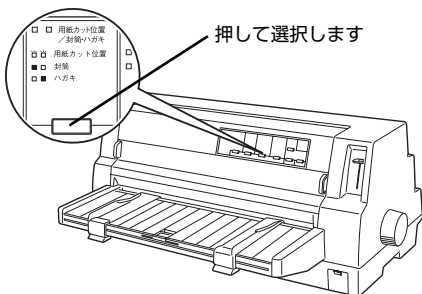
1 **プリンタの電源を入れます。**

2 **［給紙方法］スイッチを押して「単票紙 / CSF」を選択します。**

3 **通常はアジャストレバーを「AUTO」に設定します。**

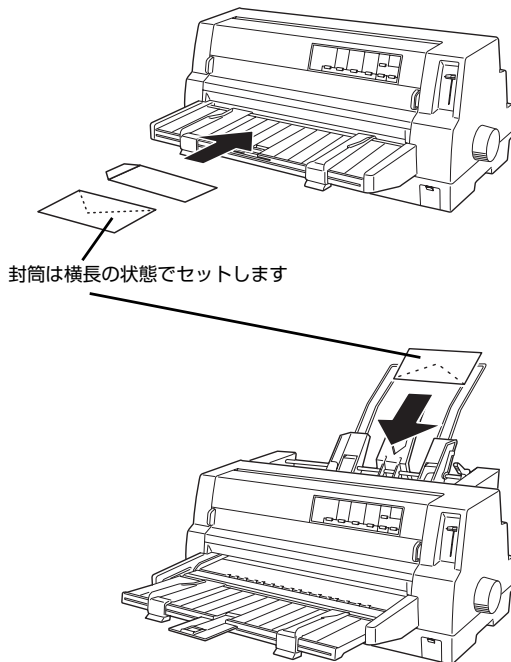
☞ 本書 33 ページ「アジャストレバーの設定」

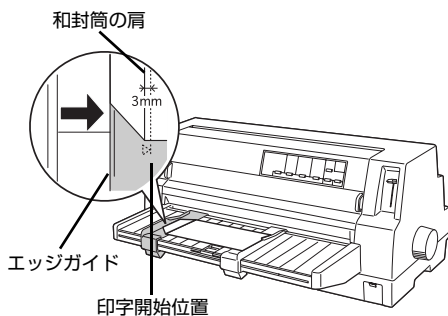
参考

封筒は場所によって用紙厚が異なるため、アジャストレバーは「AUTO」に設定することをお勧めします。ただし、印字が薄い場合は 2 ～ 6 の範囲で設定値を小さく、印字汚れ（こすれ）がでるときは 2 ～ 6 の範囲で大きく設定して印刷してください。

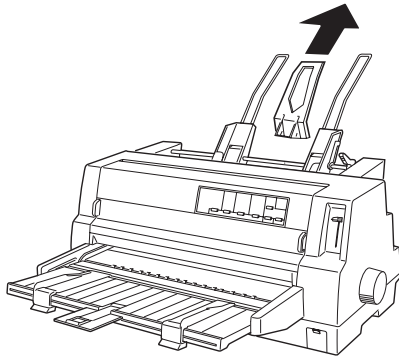
4 **ハガキモード､または封筒モードの設定をします。**

［用紙カット位置 / 封筒･ハガキ］スイッチを押して、「ハガキ」または「封筒」を選択します。

5 **用紙ガイドまたはカットシートフィーダにハガキまたは封筒をセットします｡封筒は横長でセットします。**

印刷面を上に向けて、先端が奥に当たるまで差し込みます。ハガキ・封筒は自動的に給紙位置にセットされます。印刷データを受信すると印刷を開始します。

封筒は横長の状態でセットします

!注 意

和封筒の表面に印字する場合は、印字開始位置が封筒の肩（フラップ部を除いた位置）から 3mm の場所になるように、エッジガイドの位置を調整してセットしてください。

参考

- ハガキをカットシートフィーダにセットする場合は、センターサポートを取り外し、カットシートフィーダのエッジガイドをハガキの幅に合わせて使用してください。

- 一部の封筒（長形４号、長形３号、角形３号、角形２号）は、カットシートフィーダからは給紙できません。カットシートフィーダで使用できる封筒は、洋形２号、洋形５号のみです。

6 印刷が終了するとハガキ・封筒は自動的に排紙されます。

プリンタ内に用紙が残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

連続紙と単票紙の切り替え

プッシュトラクタに連続紙をセットしたまま、連続紙と単票紙を切り替えて給紙することができます。

プリンタドライバで給紙装置を選択している場合は、以下の操作をしなくても、自動的に選択されている給紙装置に切り替わります。

連続紙から単票紙への切り替え

参考

連続紙の先端がプッシュトラクタの位置にある場合は、4から進めてください。

1 連続紙の印刷が終了したら、［用紙カット位置 / 封筒・ハガキ］スイッチを押します。

連続紙がミシン目カット位置まで紙送りされます。ティアオフ機能を自動に設定している場合は［用紙カット位置 / 封筒・ハガキ］スイッチを押す必要はありません。

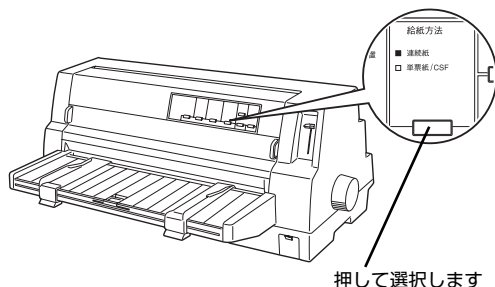
2 連続紙を切り離します。

！注 意

- 印刷が終わった連続紙は、ティアオフ機能を使って必ずミシン目で切り離してください。切り離さずに何ページも逆送りすると、紙詰まりを起こします。
- ラベル紙を使用するときは、絶対にティアオフ機能を使用しないください。印刷開始位置へ逆戻りするときに、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こします。プッシュトラクタの位置で給紙前のラベル紙を切り離し［改行 / 改ページ］スイッチで排紙します。再びラベル紙を使用するときは、トラクタにセットし直してください。

3 ［給紙 / 排紙］スイッチを押します。

セットした連続紙はプッシュトラクタの位置まで逆に戻りますが、プッシュトラクタからは外れません。

4 ［給紙方法］スイッチを押して、「単票紙 / CSF」に切り替えます。

5 連続紙と単票紙で厚さが異なるときは、アジャストレバーを設定し直します。

本書 33 ページ「アジャストレバーの設定」

参考

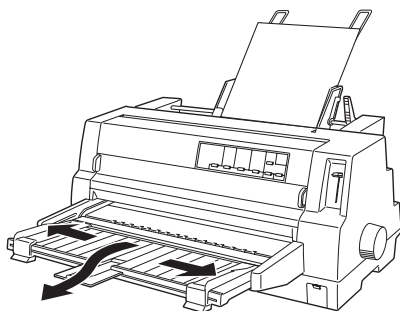
封筒は場所によって用紙厚が異なるため、アジャストレバーは「AUTO」に設定することをお勧めします。ただし、印字が薄い場合は 2 ～ 6 の範囲で設定値を小さく、印字汚れ（こすれ）がでるときは 2 ～ 6 の範囲で大きく設定して印刷してください。

6 単票紙を用紙ガイドまたは給紙補助フィーダ、カットシートフィーダ（ともにオプション）のいずれかにセットします。

用紙ガイドにセットする場合は、エッジガイドを用紙幅に合わせて、単票紙を奥まで差し込みます。

本書 37 ページ「単票紙の給紙と排紙」

参考

カットシートフィーダ（オプション）にセットした単票紙に印刷する場合は、エッジガイドを左右いっぱいに広げてから用紙ガイドを引き出し、用紙サポートを引き出してください。

7 印刷を実行します。

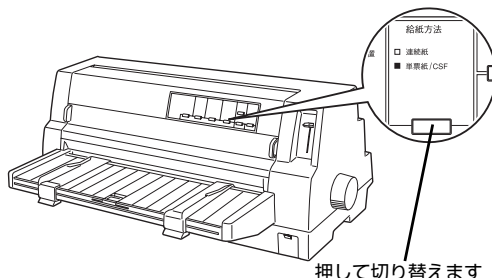
印刷データを受信すると、セットされた単票紙を給紙して印刷を開始します。

単票紙から連続紙への切り替え

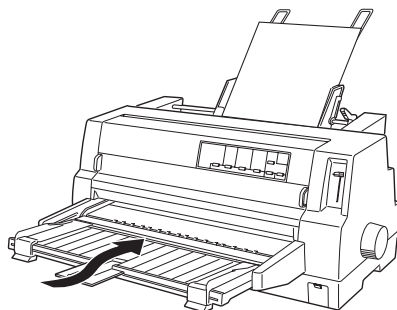
1 単票紙の印刷が終了したら、単票紙を取り除きます。

印刷途中の用紙がプリンタ内に残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

2 ［印刷可］スイッチを押して、エラーを解除します。

3 ［給紙方法］スイッチを押して、連続紙に切り替えます。

4 連続紙と単票紙で厚さが異なるときは、アジャストレバーを設定し直します。

本書 33 ページ「アジャストレバーの設定」

5 単票紙の印刷でカットシートフィーダ（オプション）を使用していた場合は、用紙ガイドと用紙サポートを元の位置に戻します。

6 印刷を実行します。

印刷データを受信すると、セットされた連続紙を給紙して印刷を開始します。

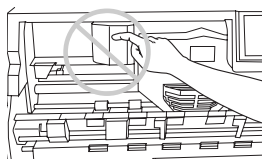
！注意

印刷データを送る前にプッシュトラクタに用紙がセットされていることを確認してください。

用紙が詰まったときは

用紙が詰まったときは、むやみに用紙を引っ張ったりせずに、次の手順で取り除いてください。

!注意

用紙を取り除くときに、プリンタ内部の白いケーブルに触れないようにしてください。

連続紙が詰まったときは

1 プリンタの電源を切ります。

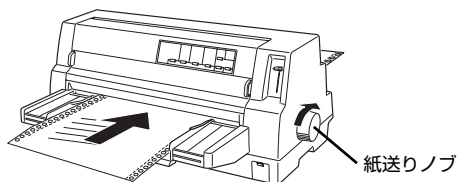
2 印字が完了している連続紙と給紙前の連続紙をミシン目で切り離します。

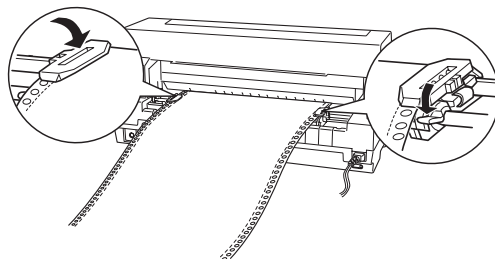
3 紙送りノブを手でゆっくりと時計回りに回します。

!注意

紙送りノブを回すときは、必ずプリンタの電源を切ってください。

用紙を後退させながら、静かに引き抜きます。
プリンタ内に用紙が残った場合は、プリンタカバーを開けて取り除いてください。

⚠注意

プリンタを使用した後は、プリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

4 連続紙をセットし直します。
本書 34 ページ「連続紙の給紙と排紙」

単票紙が詰まったときは

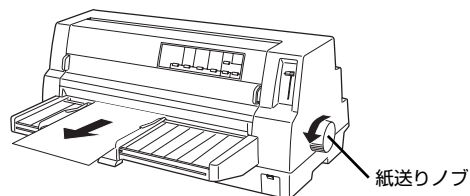
1 プリンタの電源を切ります。

2 紙送りノブを手でゆっくりと反時計回りに回します。

!注意

紙送りノブを回すときは、必ずプリンタの電源を切ってください。

用紙を前進させながら、静かに引き抜きます。
プリンタ内に用紙が残った場合は、プリンタカバーを開けて取り除いてください。

⚠注意

プリンタを使用した後は、プリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

3 単票紙をセットし直します。
本書 37 ページ「単票紙の給紙と排紙」

カットシートフィーダで用紙が詰まったときは

1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **カットシートフィーダをプリンタから取り外します。**
☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「カットシートフィーダ」－「取り外し方」

3 **用紙を取り除きます。**
紙送り方向へ用紙を引き抜きます。

4 **カットシートフィーダをプリンタに取り付けてから用紙をセットし直します。**
☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「カットシートフィーダ」－「使い方」

給紙補助フィーダで用紙が詰まったときは

1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **給紙補助フィーダをプリンタから取り外します。**
☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「給紙補助フィーダ」－「取り外し方」

3 **用紙を取り除きます。**

4 **給紙補助フィーダをプリンタに取り付けます。**

5 **単票紙をセットし直します。**
☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「給紙補助フィーダ」－「使い方」

用紙詰まりの予防

用紙詰まりを発生させないように、以下の点に注意してください。

- 使用可能な用紙を使用してください。
  ☞ 本書 32 ページ「印刷できる用紙」
- 用紙を正しくセットしてください。
  ☞ 本書 34 ページ「連続紙の給紙と排紙」
  ☞ 本書 37 ページ「単票紙の給紙と排紙」
- 用紙ガイドと給紙補助フィーダ（オプション）にセットできる用紙枚数は単票紙は 1 枚のみ、単票複写紙は 1 部のみです。
- 用紙をよくさばき、端をそろえてセットしてください。
  許容枚数を超える用紙をセットしないでください。
- カットシートフィーダに用紙をセットするときはセットされている用紙をすべて給紙してから新しい用紙をセットしてください（用紙の追加は重送* の原因となります）。
  * 重送：　カットシートフィーダからの給紙で複数枚の紙を送ってしまうこと
- 連続ラベル紙を使用する場合は、プリンタ背面のプッシュトラクタから給紙します。
  ☞ 本書 34 ページ「連続紙の給紙と排紙」

- 連続紙をセットするときはスプロケットの間隔を適切にセットしてください。スプロケットの間隔が広すぎると紙の張りが強く、用紙のピン穴が破れ用紙詰まりの原因になります。スプロケットの間隔が狭すぎて用紙がたるんでいても用紙詰まりの原因となります。セットして長時間経過している連続紙は、印刷前に破れがないことを確認してください。

リボンカートリッジの交換

インクが薄くなって十分な印刷品質を得られなくなったときは、リボンカートリッジを交換してください。

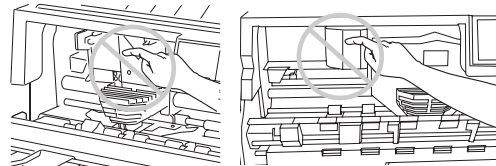
- リボンカートリッジは純正品（型番：VP4300LRC（黒）/VP4000CRC（カラー））のご使用をお勧めします。
- リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因になりますので、ていねいに扱ってください。
- プリンタの電源を入れた状態で以下の手順を行うと故障の原因になりますので、必ず電源を切った状態で行ってください。

以下の手順でリボンカートリッジを交換します。

⚠注意

プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

！注意

リボンカートリッジ交換時は、プリンタ内部の白いケーブルに触れないでください。

1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **プリンタカバーを開けます。**

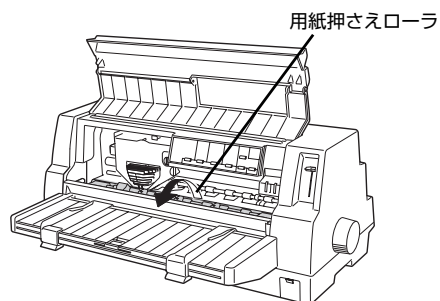
プリンタカバー左右のツマミに指をそえてカバーを開けてください。

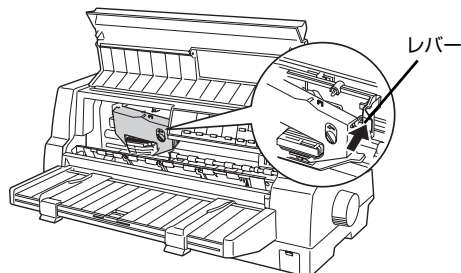
3 **プリントヘッドがリボンカートリッジを取り付けやすい位置にあることを確認します。**

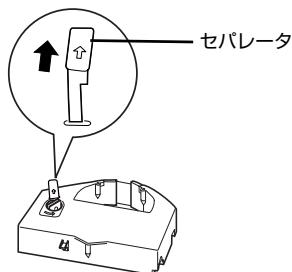
取り付けやすい位置にない場合は、プリンタカバーを閉じてから電源を入れてください。プリントヘッドが自動的にリボンカートリッジ交換の位置に移動します。再度電源を切ってから以下の操作を続けてください。

！注意

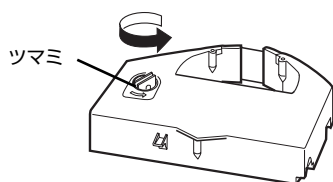
電源の切/入は、5秒程度待ってから行ってください。切 / 入の間隔が短かすぎるとプリンタの電源部が故障するおそれがあります。

4 **用紙押さえローラを手前に倒します。**

5 **リボンカートリッジを外します。**

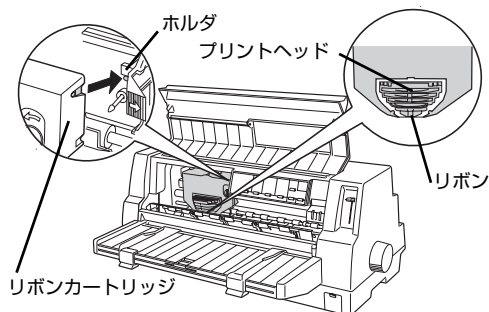
リボンカートリッジホルダの右側にあるレバーを押さえながら、リボンカートリッジを手前に引くようにして外します。

6 黒のリボンカートリッジを取り付ける場合は、新しいリボンカートリッジを袋から取り出し、セパレータを引き抜きます。

カラーのリボンカートリッジにはセパレータがありませんので、袋から取り出したら、7 へ進んでください。

！注意

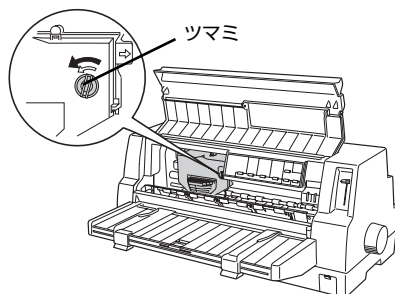
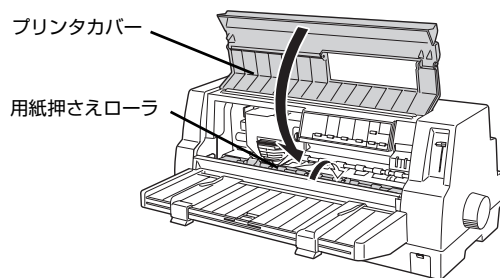
セパレータにはインクが付着しています。皮膚や衣服を汚すおそれがありますので注意してください。インクが皮膚に付着した場合は、すぐに水や石けんで洗い流してください。

7 ツマミを矢印の方向に回して、リボンのたるみを取ります。

8 リボンカートリッジを取り付けます。

リボンカートリッジを両手で持ち、プリントヘッドの下にリボンを通します。

リボンカートリッジ両端の穴を、ホルダ左右の突起に合わせてゆっくり押し込みます。

カートリッジの両端を軽く押して、傾き、がたつきのないことを確認してください。

9 リボンのたるみを取ります。

再びリボンカートリッジのツマミを矢印の方向に回してリボンのたるみを取ります。リボンが自由に動くのを確認してください。

10 用紙押さえローラを元に戻してから、プリンタカバーを閉じます。

参考

使用済みのリボンカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。

エプソンでは、宅配便などを利用した回収を進めています。詳細はエプソンのホームページで確認してください。
http://www.epson.jp/recycle/

使用済みリボンカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用してください。

廃棄する場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

以上で終了です。

さらに詳しい情報とサービスのご案内

ここでは、本製品に同梱の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM に収録されている『取扱説明書　詳細編』(PDF マニュアル）の紹介と使い方、弊社が提供しておりますサービス・サポートの概要を説明します。

PDF マニュアルの紹介と使い方

『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）には、本書に掲載されていない以下のような情報が説明されています。

- Windows から印刷する際の設定方法
- プリンタを共有するための設定方法
- 連続紙、複写紙の詳細な用紙仕様
- オプション品や消耗品の情報（取り付け方や使い方）
- 困ったときの対処方法
- プリンタ本体の仕様

PDF マニュアルを開くには Adobe® Reader® などの PDF 閲覧ソフトウェアが必要です。Adobe Reader は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードできます。また、各 OS に対応する Adobe Reader のバージョンは、アドビシステムズ社のホームページでご確認ください。

PDF マニュアルは以下の手順で開きます。

1 **本製品に同梱されている EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

2 **［電子マニュアルを見る］をクリックします。**

3 ［VP4300UG.pdf］をダブルクリックして開きます。または、ドラッグアンドドロップなどの機能でお好みのフォルダへコピーします。

各種サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートの概要は以下の通りです。

名称	内容	問い合わせ先 / アクセス先など
エプソンインフォメーション センター	製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。	☞本書裏表紙
エプソンのホームページ	製品に関する最新情報などをインターネットにて提供しています。	
MyEPSON *	エプソンの会員制情報提供サービスです。 「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設してお役に立つ情報や、さまざまなサービスを提供いたします。	
ショールーム	エプソン製品を見て、触れて、操作できます。	
ソフトウェアダウンロードサービス	プリンタドライバなどのソフトウェアは、バージョンアップされることがあります。最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。	☞エプソンのホームページ
マニュアルダウンロードサービス	製品に添付されている取扱説明書の PDF データをダウンロードできます。取扱説明書を紛失したときなどにご活用ください。 MS-DOS、Windows 3.1/95/98/Me/NT3.51/NT4.0、Macintosh での操作方法などを説明した補足説明書の PDF データは弊社のホームページからダウンロードしてください。	
消耗品 / オプションの購入	エプソン製品の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソンダイレクトの通信販売をご利用ください(2010年9月現在)。	☞本書裏表紙
保守サービス	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくための保守サービスをご用意しております。	☞次項「保守サービスのご案内」

＊：「MyEPSON」登録済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。
「MyEPSON」への新規登録や機種追加登録は、同梱の『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』から簡単に行えます。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず『取扱説明書　詳細編』(PDF マニュアル)の「困ったときは」をよくお読みください。

保証書について

保証期間中に、万一故障したときには、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約や、エプソンサービスパックをお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター（本書裏表紙参照）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金</th><th rowspan="2">お問い合わせ先</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td rowspan="2">年間保守契約</td><td>出張保守</td><td>• 製品が故障した場合、最優先でサービスエンジニアが製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。
• 修理のつど発生する修理代･部品代*が無償になるため予算化ができ便利です。
• 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。
*：消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td><td rowspan="3">エプソンサービスコールセンター</td></tr>
<tr><td>持込保守</td><td>• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理をいたします。
• 修理のつど発生する修理代･部品代*が無償になるため予算化ができ便利です。
• 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。
*：消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット出張修理</td><td>• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所にサービスエンジニアが出向き、現地で修理を行います。
• 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</td><td>無償</td><td>出張料＋技術料＋部品代
修理完了後そのつどお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">持込 / 送付修理</td><td>修理故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理いたします。</td><td>無償</td><td>基本料＋技術料＋部品代
修理完了品をお届けしたときにお支払いください</td><td>エプソン修理センター</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドア to ドアサービス</td><td>• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。
• 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金のみ）</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金＋修理代）</td><td>ドア to ドアサービス受付電話</td></tr>
</table>

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3 年、4 年、5 年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応　：スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単　：エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化　：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）

刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

著作権

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

EPSON
EXCEED YOUR VISION

EPSON　VP-4300　セットアップと使い方の概要編

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp
各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター
修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒060-0034　札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F　エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243　松本市神林1563　エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012　東京都日野市日野347　エプソンサービス(株)	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041　福岡市博多区吉塚8-5-75　初光流通センタービル3F　エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027　那覇市山下町5-21　沖縄通関社ビル2F　エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)
＊ 予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊ 修理について詳しくは、エプソンのホームページ　http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。
◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・ 松本修理センター：0263-86-7660　・ 東京修理センター：042-584-8070　・ 福岡修理センター：092-622-8922

●引取修理サービス（ドアtoドアサービス）に関するお問い合わせ先
＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。
引取修理サービス（ドアtoドアサービス）とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）受付電話　**050-3155-7150**　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。
＊平日の17:30～20:00(弊社指定休日含む)および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通航空で代行いたします。
＊引取修理サービス（ドアtoドアサービス)について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/でご確認ください。
＊年末年始(12/30～1/3)の受付は土日、祝日と同様になります。

●エプソンインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。
050-3155-8088　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8581へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション　製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。
050-3155-8100　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム＊詳細はホームページでもご確認いただけます。http://www.epson.jp/showroom/
エプソンスクエア新宿　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル1F
【開館時間】　月曜日～金曜日9：30～17：30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	**http://myepson.jp/**

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

● 消耗品のご購入
お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。(2010年7月現在)

エプソン販売 株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン 株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス(SIDM)　2010．07